

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援センターみゆき		回収数	20人		公表日	令和7年2月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・人数に応じてグループ別の活動を行い、活動場所を分けて行っている。 ・グループ別療育や様々な活動に合わせて訓練室やホール等を選らb使用することができる。 			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状態によっては1対1対応等必要なこともあるのではないか。 ・基準の子ども4人に保育者1人ん関わりを意識して行っている。 ・配置数は適切だが、配置基準を3対1にしてほしい。 ・日々療育の中で個に応じた職員配置で行っており、余裕を持った人数配置であることも多い。 ・職員が増えるにより丁寧に子どもたちと関わることができると思う。 ・1対1での対応を必要とする子が多いので多くの配置、フリーの職員が必要。 ・配置数は適切であるが、配置数の見直しがあると良い。 ・子どもの特性によっては職員が足りていないと感じる部分もある。 			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18	2	<ul style="list-style-type: none"> ・建物尾が古いため、バリアフリーに合っていない箇所もあると感じる。 ・視覚支援カード等を用いて情報伝達の配慮を行っている。 ・必要に応じてパーテーション、視覚支援等、特性に合わせた環境構成を心がけている。 ・活動に応じてマットを使用し子どもにとって分かりやすい環境を設定している。 ・余計な掲示物を外し必要なイラストや掲示物が見やすいよう配慮している。 ・必要な所ではパーテーションを使用し、児が落ち着けるようにする等配慮している。 ・活動に合わせた音楽の使用をしわかりやすくしている。 ・壁面を貼る場所の工夫をし、活動場所はシンプルな環境にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の作りに対してはすぐに改善は難しいが、今後も生活スペースの見直しをを継続的に行い、利用者にとって分かりやすく危険のない空間が維持できるようにしてきます。 		

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが使用する室内や玩具は毎日消毒し清潔で安全な空間となっている。 ・ロッカーの上や机の上等を常にきれいにしよう心がけ、余計な物を置かないようにしている。 ・危険な場所はすぐに周知し、安全に使えるようにしている。 ・定期的な清掃、消毒を行っている。 ・毎日丁寧に清掃がされ清潔を保っている。 ・2階建て施設だがエレベーター等はなく、段差もあることを考えるとバリアフリーとは言えない。 ・労務補助員や職員が毎日清掃、環境整備をしている。 ・活動に必要なものはその都度片づけるようにしている。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に応じて部屋を使い分け、落ち着いて取り組める環境を整えている。 ・クラスから離れて空き部屋等でクールダウンを行うことができる。 ・個別活動の様子に合わせて部屋を移動するようにしている。 	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に業務が実行できるよう、係を決め定期的に見直し、予定通り進めることができているのか等を見直している。 ・月1回のクラス会議等を利用し、定期的に見直すことで改善できる箇所等の話し合いを行っている。 ・週案を立てて実践することにより、振り返りがしやすくなっている。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者等の意向は業務改善に向け職員で共有、検討することはできている。 ・親子教室では振り返りの時間を設け、保護者に感想や意見交換する時間になっている。 ・客観的意見を取り入れ、療育に活かしている。 ・全体周知ができている。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修を行い、こまめに共有している。 ・意見の言いやすい風通しの良い環境を目指している。 ・職員会議の研修や適宜クラス会議にて意見を出した物はチーフ会に挙げて話し合うようにしている。 ・所長が職員と定期的に面談を実施し、職員の意見を聞く機会を設けている。 ・クラス会議やケース会議等を実施し、職員の意見等を把握するようにしている。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	20	<ul style="list-style-type: none"> ・実施していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は苦情についてのみの実施である。今後については実施に向けて検討していきます。

10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修や様々な研修会に参加する機会がある。(伊豆医療相談、医師相談、職員向け研修等) ・研修を積極的に受けるようにしている。 ・年9回の職員向け研修の計画、実施をし多くの職員が参加できるよう調整している。 ・コドモンの職員向け研修の利用を開始。 ・自分の受けた研修で学んだことを他職員に伝えるようにしている。 ・公立保育所の交流研修や、オンライン研修等の実施をし、公立職員全体の向上に繋げている。 ・職員会議等で報告したり、資料の回覧をし共有している。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度作成をした。個別支援計画作成時等に保護者説明を実施してきた。 ・ホームページには今年度中の公表予定。
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの現状とニーズ、課題をすり合わせて子どものために何ができるか考える等に行っている。 ・日々の会話も大切にしている。 ・日々の子どもの様子の記録を職員間で共有しニーズや課題を話し合っている。保育者への聞き取りも意識しているがさらに丁寧にやっていきたい。
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者のニーズを中心に考え、一人一人にあった支援計画になるよう考えている。 ・会議や支援計画について話し合いの下決めている。 ・クラス会議で話し合い、その子や保護者にあったニーズを掲げ作成している。
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス職員と確認している。 ・クラス全体で情報を共有し、同じ目標に向かって支援をするよう心がけている。 ・職員間で計画のすり合わせを行い計画、支援を行っている。 ・担当を中心に全体で取り組めるようにしている。 ・クラスフォローに入った際に支援方法が担当とズレないように口頭で確認をその都度するようにしている。記録の回覧でも共有をしている。 ・計画はクラス全体で共有するようにしている。 ・クラス会議に児発管も参加し話し合うようにしている。 ・書式が新しくなり、保護者ニーズを聞きながら作成できていると感じる。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回、アセスメントシートでのチェックを行っている。 ・フォーマル、インフォーマルなアセスメントを日々意識することが必要。 ・アセスメントシートをより有効に活用できるよう書式の書き方を再確認していく。 ・アセスメントシートを使用し定期的に行っているが、判断が難しい項目もあり確認方法を検討していきたい。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画に5つの視点や各支援目標、具体的な支援内容等、充実した計画になっている。 ・児発管に導いてもらい個々の力をもっとつけていけるようにしたい。 ・クラス間でしっかりと話し合う中で本人に合わせた支援内容を考えるようにしている。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・2グループの週案をチームで考えている。 ・活動別でグループを変更し、発達段階を考えて行えるようにしている。 ・グループで内容を考えたり、子どもに合わせた活動に変更したりしている。 ・週案を立てる際はクラス内で活動内容について意見を出し合い行っている。 ・クラス職員で意見を出し合い行っている。 ・1週間ごとに子どもの様子に合わせ活動内容を考え、どのように進めるかを話している。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	2	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な幅広い活動を考えていきたい。 ・色々な活動を考え、固定しないよう工夫はしているが、ゲーム遊び、運動あそびをもう少し入れていきたい。 ・いくつかの内容を実施興味のある物を見つけて行けるように心がけている。 ・固定プログラムと目新しいプログラムを混ぜ活動がマンネリ化しないように気をつけている。 ・好きな遊びだけでなく、伸ばしたい力や経験をさせてあげたいと考慮している。 ・他クラスの活動を取り入れたり、他クラスと交流できる時間を設けている。 ・日誌を確認しながら、内容を把握し同じ内容が繰り返されていないかをクラスで共有している。 ・様々な活動が実施できるよう計画を立てている。 ・定期的に行えていない活動は何かを振り返るようにしているが、同じような活動が増えることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムが固定化しないよう工夫しているという職員が多数ではあるが、固定化しているという意見があることを真摯に受け止め、意見の出しやすい職員関係を見直していきます。 ・引き続き研修等に積極的に参加し、新たな活動や学んだことを共有できるようにします。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・2グループに分かれることで、ルールのある遊びや子どもにあった集中できる活動を行うことができています。 ・個別活動はできにくい状況ではあるが、活動内容を考え個別の活動が実施できるよう工夫している。 ・グループごとの活動も行っているが、さらに小集団の個別活動もとりにいれていきたい。 ・必要に応じて個別的な配慮を行っているが、さらに個に合わせた活動を取り入れていきたい。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にその日に行う活動や流れについて職員間で打合せをするよう心がけている。 ・事前計画の時から役割分担を決め行っている。 ・事前に行っておくことをクラスで確認している。 ・共有する時間がたりず、活動に対する全員のねらいを把握しきれない時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間の中での共有方法は難しさを感じている。時間の使い方、共有の仕方を再度見直ししながら、共有方法について引き続き考えていきます。

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18	2	<ul style="list-style-type: none"> ・余裕がない時はできないことが多いので、できるだけ気づいた点を共有して行きたい。 ・親子の様子も含めて振り返りをしている。次回に向けた対応もしている。 ・互いの(クラス間での)療育の気づいたことや反省をクラス内で話すようにしている。 ・打合せが充分に行えないことはあるがコミュニケーションをとることで解消できている。 ・日々現況の記録をする時に子どもの様子を含めもっと話をし共有できると良い。 ・その日のうちに気づいた点や児の支援方法について話し合いをし、対応方法を考えている。また1か月に1回は振り返りをしている。 ・親子教室のグループごとに内容や子どもの様子の共有を行うようにしている。 ・できる限りクラスで振り返りを実施しているが、できないこともある。 ・毎回はできないこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全員での振り返りは難しくても、記録に書き起こしたり、集まることのできる職員で振り返りながら短時間でも時間をとるようにしている。当日の夕方のみにごかわらず、翌日の朝等も利用しながら全員が共有できる方法を考えていきます。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいた事はクラス間で共有し改善につなげている。 ・事前計画の時から役割を決め細かく打合せをしている。 ・親子教室後の記録記入、1か月の振り返りの記入を実施している。 	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	2	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なモニタリング以外にも目標達成した場合に見直しを行っている。 ・子どもの現在の状況を見ながら個別支援計画の見直しをして考えるようにしていきたい。 ・毎月のクラス会議に時にモニタリングをする時間を設けている。 ・意識はしているが定期的には行えていないと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全クラスが毎月のクラス会議、ケース会議等の時間にモニタリングを心がけられるように周知していきます。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議の開催件数は少なかったが、勤務調整等を理解している職員が参加できるようにしている。昨年度に比べ実施件数の増加が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の日程調整の難しさが問題となっているが、積極的に開催していけると良い。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターや各園、市立病院などと必要に応じて連携をとっている。 ・zoom等を用いた連携、電話、見学等を実施している。 ・年1回市立病院との連携会議を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型電子黒板の導入やネット環境の整備の実施がされた為、今後はzoom等を活用しながらより積極的に実施していけると良い。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画をもとに、子どもへの支援方法等共有することができている。 ・状況に合わせて面談を設け連携を図っている。 ・個別に相談にのったり、情報共有を行っている。 ・並行通園を利用している児の在籍園との個別支援計画の共有や園での様子を情報共有している。 	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの教室も引継ぎを行っている。 ・書面や電話、パトタッチ会議等での引き継ぎを行っている。 ・職員も学校見学会に参加をし、就学後の子どもの様子を知ることができている。 	
	(28～30は、センターのみ回答)			<ul style="list-style-type: none"> ・近隣のセンター見学や実習を行い、質の向上に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者向けの研修会等の実施を行っているが、事業所同士での意見交換をする場を持つ

関係機関や保護者との連携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	20	0	・地域会議への参加、地域の方との散歩等を実施している。	ことはできていない為、今後の課題と考えている。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	20	0	・見学や研修に参加している。 ・受けた内容を職員間で共有している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	20	0	・定期的に参加することができる。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	20	0	・年間計画に沿って他園と交流する機会がある。 ・他園とのふれあい、年長児のふれあい、ボランティアを交えての散歩等を実施している。 ・現在実施している園の他にも広げていけると良い。 ・公立保育所との交流を実施。 ・保育所に行くだけでなく、センターに来てもらい交流する機会を作り実施した。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20	0	・送迎児等に話をして共有できるようにしている。 ・日々の様子や成長を口頭や連絡帳を通じて伝え合っている。 ・送迎時にはその日にあったエピソードを伝えるようにしている。体調面以外にも成長を共有できるようにしている。 ・日頃から様子を伝え合い、成長を喜び合ったり、課題を共有していくよう心がけている。 ・連絡帳や送迎の際に伝えてはいるが、バス送迎の時には難しさを感じる。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20	0	・年8階の保護者向け学習会を計画、実施している。 ・親子通園や親子活動の実施。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	20	0	・契約時に書類の配布と共に口頭での捏名を実施しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20	0	・保護者の意向を面談で確認し、それに基づいて計画作成をすることができる。 ・面談前にニーズを確認したうえで、再度家族の意向を確認するようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	20	0	・計画を見ながら丁寧に説明を行ったうえで同意を得ている。 ・保護者にも分かりやすい表現や言い回しで支援計画の内容を伝えている。	

38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・直に答えられないことは他の職員にも相談して答えられるようにしている。 ・相談内容は職員間で共有している。内容により心理士や看護師に相談することもある。 ・日々の子育ての大変さに共感しながら助言等を行うようにしている。 ・相談に関してクラス間や上司へ必ず報告してから対応している。 ・クラス間で共有したり上司に相談し、適切な助言や支援ができるようにしている。 ・相談については返答が確実でないものは他の職員に確認をしてから返答するようにしている。 ・個別支援計画作成時に個別面談の時間を設け話を伺う時間を作っている。 ・相談後の事後確認を行うように敷いている。 	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい同士で交流するということはこれから考えていく課題だと思う。 ・きょうだい同士で交流する機会は設けていない。保護者連絡会をしたり、茶話会の場を提供している。 	・きょうだい交流できる場について、来年度は実施予定です。
40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・上司への報告は素早くし、職員間での情報共有ができるようにしている。 	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・コドモンでの活動記録や心理士だより、食育だより、保健だより等の発行。 ・コドモンアプリの導入により発信はしやすくなったと感じる。 	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・目のつくところに子どもの名前が書かれた書類等を置かないようにしている。 ・連絡のない方が迎えに来た場合は必ず保護者に確認してから引き渡している。 ・個人情報が流出しないよう常に気にかけている。 	
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭状況に合わせ情報伝達や意向確認等を行っている。 ・伝え方を工夫しているが捉え方等難しく自分の対応に毎回不安を感じる。 	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩や親子教室にボランティアの参加を依頼し実施している。 ・行事等に呼べるようになると良い。 ・コロナの状況が落ち着いてきてから徐々に医散歩や託児ボランティアのお願いを始めている。 	
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション時に伝えている。 ・毎年全体で確認するが、個人的にも定期的に読み返すように努めたい。 ・親子教室参加児にもオリエンテーションの際に伝えている。 ・月1回の避難訓練を計画立てて実施。 	
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な場面を設定し行っている。 	・今後も随時検討しながら見直していく。

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・常備薬を災害時に看護師保管のもと預かっている。 ・年度始め、利用開始時に保護者に児童表を記入してもらっている。 ・事前に聞き取り票にて確認している。 ・健康手帳にて健診の度に追加記入がないか確認している。 	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず複数人で確認し、間違いのないようにしている。 ・アレルギーの子は別メニューの献立を作成している。 ・医師の指示所を提出してもらい、栄養士が献立作成をしている。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理マニュアルを共有している。 	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練等の配信や引き渡し訓練の実施。 ・引渡し訓練の実施。 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月クラスごとで反省、傾向と対策を話し合い、朝礼や職員会議での全体周知をしている。 ・ヒヤリハット記入だけでなく朝礼での周知もしている。 ・ヒヤリハットの記録をつけ、全職員回覧したり朝礼で周知。傾向と対策を話し合い検討している。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修プログラムの中で実施している。 ・改めて研修を行うことで自分の療育を振り返りをおこなうことができている。 ・権利擁護、虐待の研修を年間計画の中で実施し、対応を周知している。 ・職員会議での園内研修で行えている。定期的に振り返られる機会を設けていきたい。 	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修や虐待防止マニュアルで身体拘束について確認している。やむを得ず行う場合は個別支援計画にて保護者に確認し記録も実施している。 		